



LAWOの設定方法

【概要】

この文章では、LAWO社製品とMerging社製品をRAVENNA/AES67で接続する方法を解説しています。

LAWO製品とAnubisを接続した場合、LAWO製品がPTPマスターに、Anubisはスレーブになるよう設定されています。

何らかの理由で逆に設定したい場合は、両方の機器のWebサービスのPTPのページで、Priorityの値を上げ/下げ（値が小さいとマスターになる）することで変更することができます。

Anubis の Advanced ページの開き方

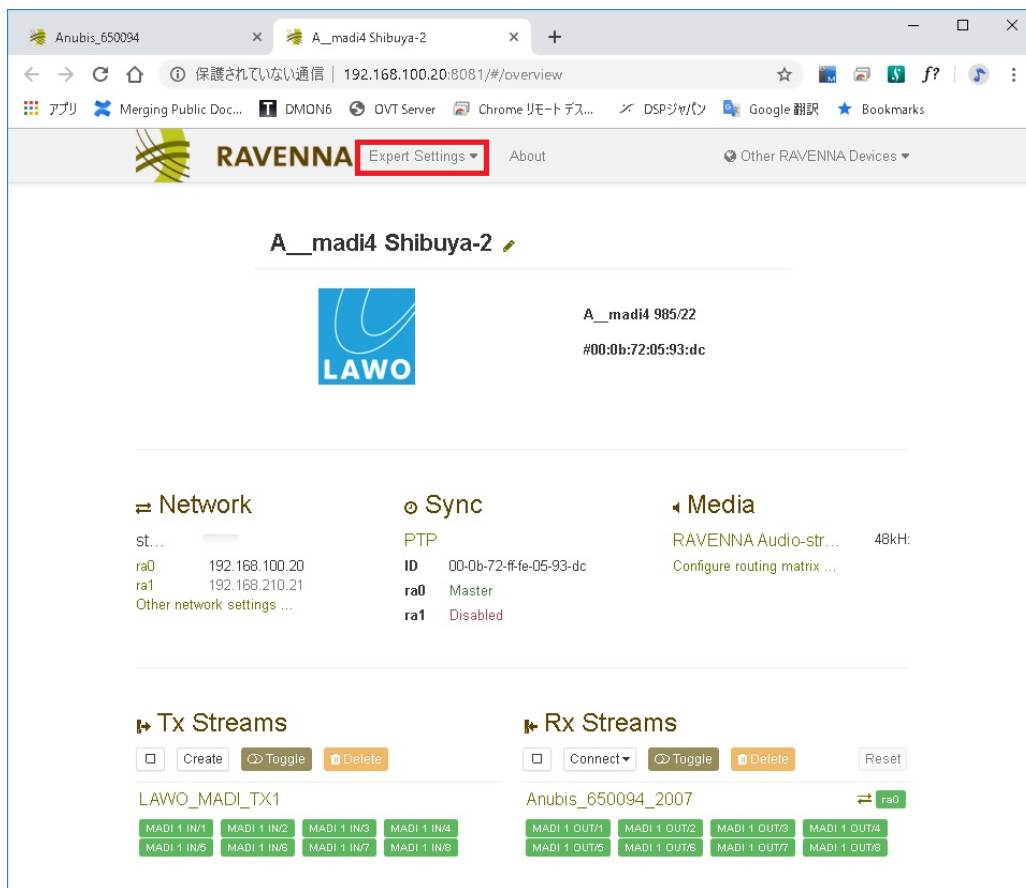
ANEMANまたはMT Discovery でAnubisを選択し、右クリックしてAdvancedを選択します。





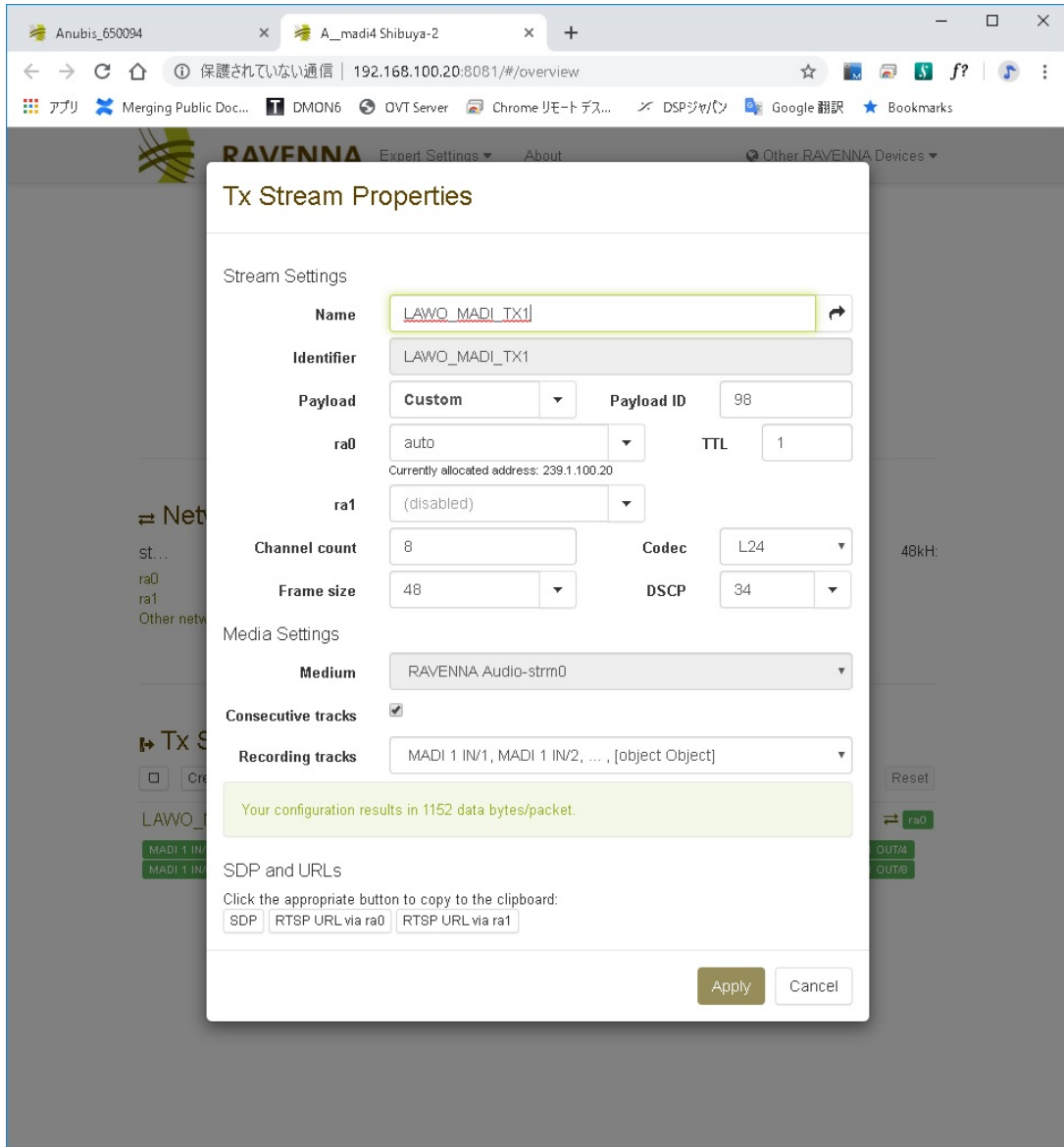
LAWOのExpert Settings への入り方

1. LAWOデバイスのIPアドレスをブラウザの検索ボックスに入力します。
2. RAVENNAマークの右横にある Expert Settings をクリックします。
3. パスワードを要求されるので、“ravenna” と入力してOKをクリックすると Expert Settings に入れます。



TX Stream の作り方 (LAWOからAnubisへ)

4. TX Stream をクリックすると、Tx Stream Properties が開きます。
5. ここで必要なチャンネルのストリームを作成できます。
6. Nameには適当な名前を入力してください。
7. Payload から適当なStreamを選ぶことができますが、Custom にすると Frame sizeなどを目的のものに設定できます。




- 最後に次の図の赤枠をクリックし、DNS-SD/RAVENNA をクリックすると、AnubisのAdvanced ページ > Session Sink ページ上の Source のドロップダウン メニューにStreamの名前が選択肢 (sap://.....) として表示されます。Anubis側でそのStreamを選択するとLAWO > Anubisの経路が完成します。



Tx Stream Properties

Stream Settings

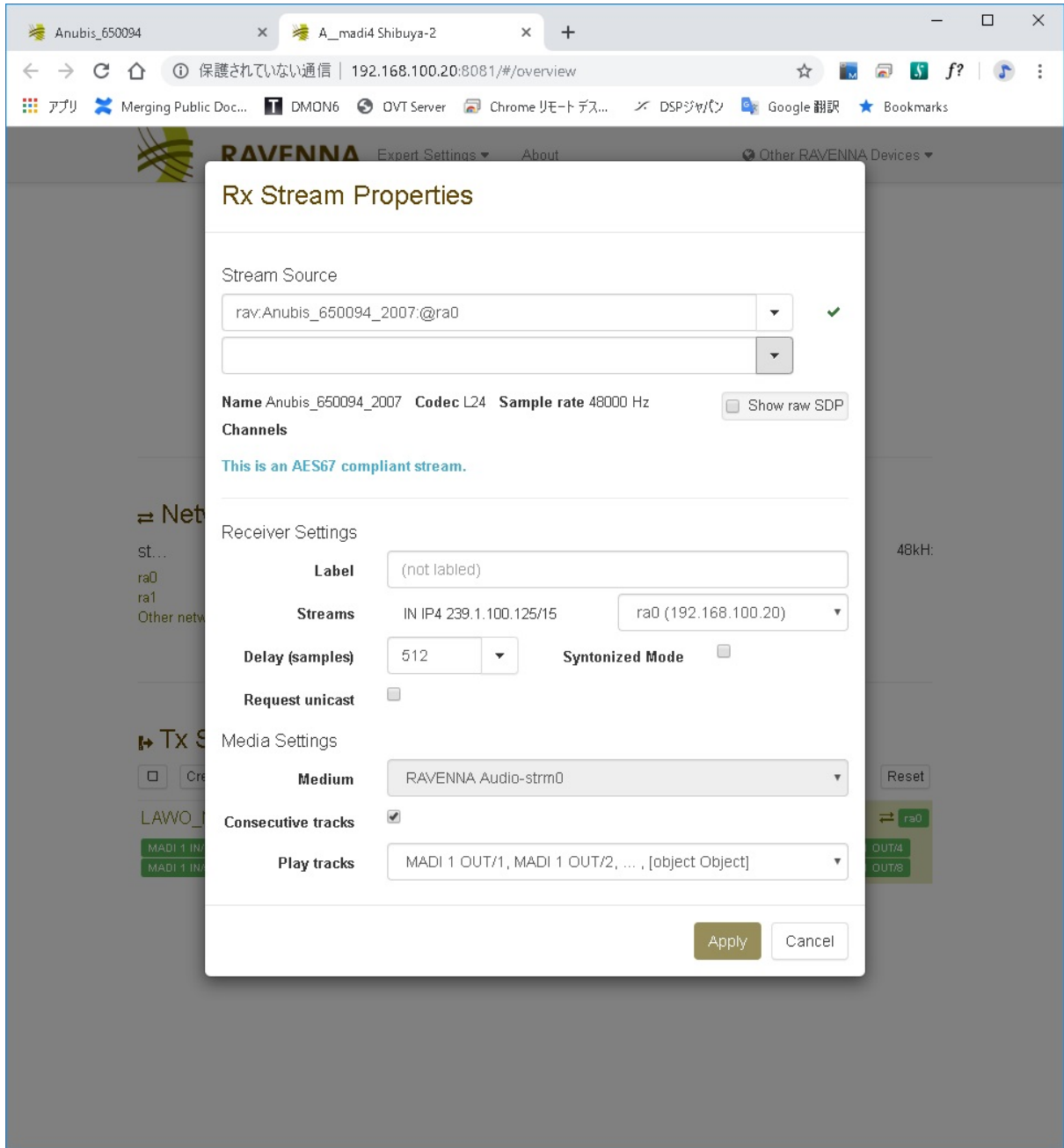
Name	<input type="text" value="LAWO_MADI_TX1"/>	
Identifier	<input type="text" value="LAWO_MADI_TX1"/>	
Payload	<input type="text" value="Custom"/> ▼	Payl <input type="text" value=""/>
ra0	<input type="text" value="auto"/> ▼	TTL <input type="text" value="1"/>

Currently allocated address: 239.1.100.20

Advertise this session as



RX Streamの受け方



9. RX Stream をクリックするとRx Stream Properties に入れます。



10. ドロップダウンでAnubisからのStreamを選択して Apply をクリックするとStreamを受け取ることができます。

トラブルシューティング

きちんと通信が行われている場合、MACアドレスが次の図の赤枠部分に表示されるはずです。これが表示されない場合、通信に障害があります。

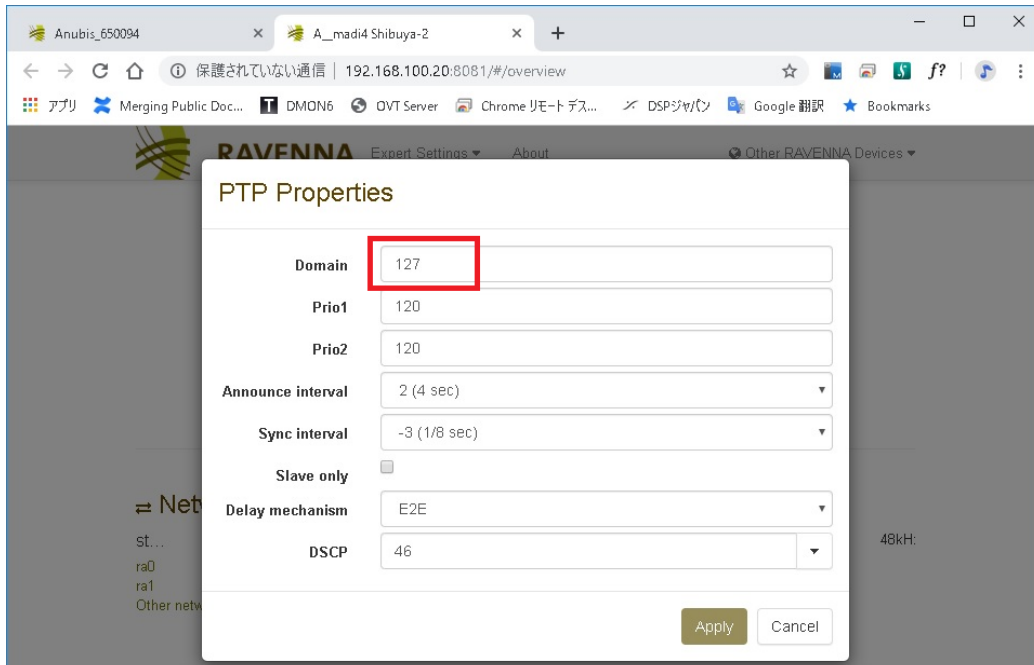
The screenshot shows the RAVENNA web interface for device A_madi4 Shibuya-2. The interface includes a header with the RAVENNA logo and navigation options. The main content area displays the device name and a LAWO logo. Below this, there are three sections: Network, Sync, and Media. The Network section shows IP addresses for ra0 and ra1. The Sync section shows PTP settings, with the ID field highlighted in red, containing the value 00-0b-72-ff-fe-05-93-dc. The Media section shows RAVENNA Audio-stream settings. At the bottom, there are Tx Streams and Rx Streams sections, each with a list of streams and buttons for Create, Toggle, and Delete.

これを解決するには、

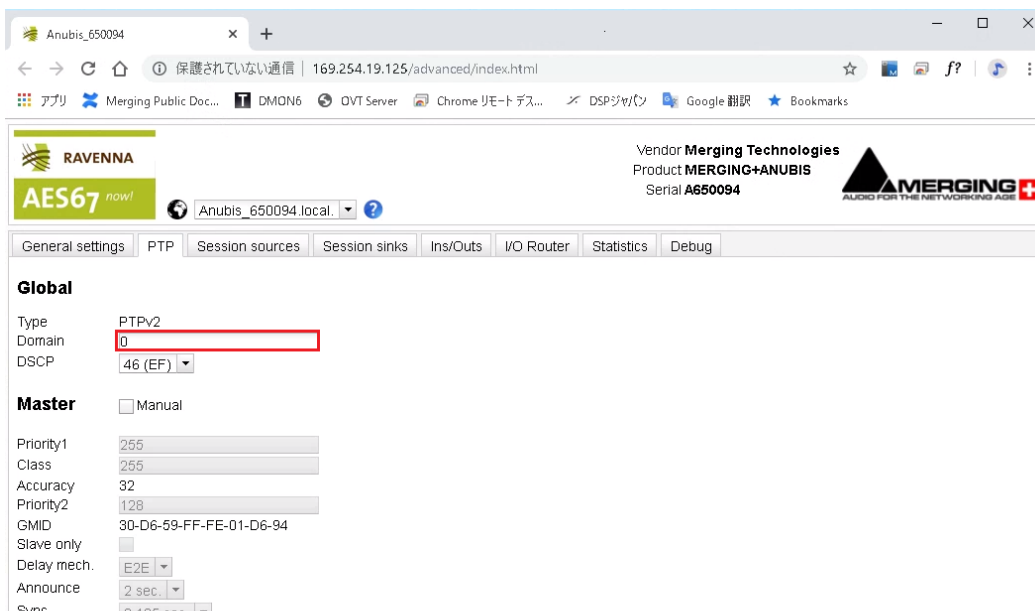
1. 全ての Rx Streams を選択して Toggle をクリックしてでグレイ (Mute) にし、



2. トップページからPTPをクリックして PTP Properties を開き、Domain を“0（デフォルト）”以外に変更し（LAWOは再起動が必要です）、
3. Rx Streams を受けれるかチェックして下さい。ストリームを送っている側（Anubis側）の Domainも同じ値に変更する必要があります。



LAWO側



Anubis側



どうしてもつながらない場合（トップページのRX Streamがオレンジ色の場合）、Rx Stream Properties の“Syntonized Mode” にチェックを入れます。このモードでは絶対時間が考慮されず、タイミングのみで音を受け取ります。

このモードは便利ですが、正常なネットワークとは言えません。原因が不明で、現場的にどうしても音を送受信しなければならない時のみ使用してください。

Rx Stream Properties

Stream Source
rav:Anubis_650094_2007:@ra0 ✓

Name Anubis_650094_2007 Codec L24 Sample rate 48000 Hz Show raw SDP

Channels

This is an AES67 compliant stream.

Receiver Settings

Label (not labled)

Streams IN IP4 239.1.100.125/15 ra0 (192.168.100.20) ▼

Delay (samples) 512 ▼ **Syntonized Mode**

Request unicast

Media Settings

Medium RAVENNA Audio-strm0 ▼

Consecutive tracks

Play tracks MADI 1 OUT/1, MADI 1 OUT/2, ... , [object Object] ▼